



降矢洋子『もうひとつのよる』



降矢なな『めっきらもつきら どおんどん』



アンヴィル奈宝子『さるおどり』

降矢洋子 降矢なな アンヴィル奈宝子 三人展

——— この夏、3人の作家さんの6つのストーリーに会いに来ませんか ———

本展覧会では、降矢洋子さんの作品、見慣れた風景が夜になると見せる別の顔を描く『もうひとつのよる』や紙芝居『いなむらの火』、降矢ななさんのデビュー作『めっきらもつきら どおんどん』と新作『まゆとかっぱ』。アンヴィル奈宝子さんは、夏にぴったりのお話、ラスチョシリーズより『ラスチョのせんすいかん』、降矢ななさん文による『さるおどり』。以上6作品の絵本原画約100点を展示し、さまざまな背景をもちながら作家として活躍される親子3人の個性あふれる作品をご紹介します。

■ 降矢 洋子

東京藝術大学卒業後、画家として、そして絵本作家として活動し、その絵画作品は国内だけではなくウィーン、ヨハネスブルグ、ナイロビなどでも発表されている。南アフリカのアンチアパルトヘイトのポスターの作品制作を人種差別制度が撤廃されるまで続けた。

■ 降矢 なな

1985年『めっきらもつきら どおんどん』でデビュー。その後、東欧圏のアニメーションの影響をうけ、1992-2000年スロバキア共和国ブラチスラバ美術大学・版画科ドゥシャン・カーライ教授の下で石版画を学ぶ。公式ブログ『きつね女房日記』
<http://nana-furiya.blogspot.sk/>

■ アンヴィル 奈宝子

東京造形大学デザイン科を卒業後、金属製品のデザインや制作の仕事を経て、絵本やイラストの仕事や母・降矢洋子さんが主宰する子どもの絵画教室「FREE YA HOUSE」の活動にも参加。

国立市子ども絵画教室「FREE YA HOUSE」 降矢洋子さん・アンヴィル奈宝子さんをお招きして出張ワークショップ開講！



「アイデアをひらめかせて○○をつくろう」

8月9日(日) 13:30より ハケ岳小さな絵本美術館 参加者は子どものみ(要申込) 参加費 300円

岡谷館企画展

若手絵本作家 企画第2弾
かつらこ展
7月18日(土)~9月13日(日)

ハケ岳館 次回企画展

堀内誠一の世界
9月19日(土)~11月30日(月)

- おとまり美術館(ハケ岳館) 前半 7/31 ~ 8/2 ・後半 8/21 ~ 8/23
- かつらこワークショップ(岡谷館) 8/8 13:30 ~
- 陶器市(岡谷館・ハケ岳館) 9/19 ~ 9/23
- 絵本セミナー 11/14・15



25周年 ありがとう

ハケ岳小さな絵本美術館

〒391-0115 長野県諏訪郡原村原山
TEL 0266-75-3450 FAX 0266-75-3460

休館日: 火曜日・第2水曜日(8月無休)

入館料: 大人 700円 / 中高生 400円 / 小学生 300円 / 幼児無料

開館時間: 10:00 ~ 17:00

(8月は17:30まで / 入館は閉館の30分前まで)



このチラシをご持参の方は会期中に限り入館料が2名様まで団体料金となります